

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)10月3日

所属名：湖東農産普及課

番号：F23021

部門分類：110 稲

発信者名：數野、和田

近江米新品種「きらみずき」採種ほ場の審査が終了しました！

彦根市宇尾町では、本年度から水稻新品種「きらみずき」の種子の生産が始まり、9月11日に生産者3名、関係機関10名が参加し、最終審査となる糊熟期の審査を行いました。

宇尾町は滋賀県で栽培される水稻の採種ほ場として、毎年6品種程度が栽培されています。本年度は40haのほ場で栽培され、うち4haで水稻新品種「きらみずき」の種子が生産されています。

採種ほ場では、出穂期と糊熟期に審査が行われ、異種、異品種株や変異株の有無、雑草の状態や病害虫の被害程度、生育状況など5項目を調査しています。「きらみずき」の栽培は初めての事もあり、本年度は品種の特性を確認しながらの栽培となりましたが、長年の経験により培われた技術力により、どのほ場も良好な生育でした。

審査後は、生産者に結果を伝えるとともに、適期収穫に向けての確認を行いました。

当課では、「きらみずき」の普及に向け、今後も高品質な種子が安定生産できるよう、生産者や関係機関と連携し技術指導をしていきます。



糊熟期の「きらみずき」の状況



審査結果の報告と適期収穫に向けての確認